

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成29年3月23日 (2017.3.23)

【公表番号】特表2016-519724(P2016-519724A)

【公表日】平成28年7月7日 (2016.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-040

【出願番号】特願2016-504747(P2016-504747)

【国際特許分類】

D 0 6 P	7/00	(2006.01)
D 0 6 P	5/00	(2006.01)
D 0 6 P	3/16	(2006.01)
D 0 6 P	3/62	(2006.01)
D 0 6 P	3/54	(2006.01)
D 0 6 P	3/66	(2006.01)
D 0 6 P	3/24	(2006.01)
D 0 6 P	3/06	(2006.01)
D 0 6 P	3/04	(2006.01)
D 0 6 P	3/14	(2006.01)
D 0 6 P	5/20	(2006.01)
D 0 6 M	23/08	(2006.01)

【F I】

D 0 6 P	7/00	
D 0 6 P	5/00	1 0 5
D 0 6 P	3/16	
D 0 6 P	3/62	
D 0 6 P	3/54	Z
D 0 6 P	3/66	A
D 0 6 P	5/00	1 0 2
D 0 6 P	3/24	C
D 0 6 P	3/06	
D 0 6 P	3/04	D
D 0 6 P	3/14	D
D 0 6 P	5/20	A
D 0 6 M	23/08	

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月14日 (2017.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基質に対する処理剤の適用方法であって、前記方法が密閉容器中の固体微粒子処理剤を含む水性システムにおける予備湿潤化基質の処理を含み、前記処理が 2 : 1 以下の溶液対基質の比で行われ、

前記基質が前記固体微粒子処理剤を含む水溶液で処理され、前記処理剤が前記水溶液中に部分もしくは完全溶解形態または部分もしくは完全懸濁もしくは分散形態で存在し、

前記基質が天然もしくは合成繊維物基質、または天然、人造および／もしくは合成繊維物のブレンドを含む基質を含み、

前記天然繊維物基質が羊毛、綿および／または絹を含み、

前記合成繊維物基質がポリエステル、ポリアミド、ポリアルケン、ポリアクリロニトリルおよび／または二もしくは三酢酸セルロースを含み、

前記固体微粒子処理剤が少なくとも１つの染料を含み、前記方法が添加される電解質の非存在下で行われ、

前記固体微粒子処理剤が、任意に、粉末またはペレットを含み、

前記固体微粒子処理剤が、任意に、処理システムに処理する基質の１～５％ｗ／ｗの範囲内のレベルで添加される、方法。

【請求項２】

前記少なくとも１つの染料が、任意に、酸性染料、アゾ系着色剤、塩基性染料、直接染料、反応性染料、分散染料、バット染料および硫化染料から選択される、請求項１に記載の方法。

【請求項３】

前記方法が添加される染料吸収促進添加物の非存在下で行われ、前記染料吸収促進添加物が、任意に、硫酸、酢酸およびギ酸等の酸；酢酸／酢酸ナトリウムおよびオルトリン酸二水素ナトリウム／オルトリン酸水素二ナトリウム等の緩衝剤；乳酸ジエチル、乳酸エチルおよび - ブチロラクトン等の酸供与剤；または、アリアルスルホン酸のタンパク質縮合物、ポリリン酸塩、リグニンスルホン酸塩およびホルムアルデヒド重縮合物等の分散剤；から選択され、および／または、

前記方法が、塩化ナトリウム、塩化リチウム、塩化カリウム、塩化セシウムおよび硫酸ナトリウム等のアルカリ金属のハロゲン化物または硫酸塩、ならびに、モノ - 、ジ - 、および／もしくはトリカルボン酸の塩またはベタイン、から選択される電解質の非存在下で行われる、請求項１または２に記載の方法。

【請求項４】

前記基質が天然繊維物基質を含み、前記少なくとも１つの染料が反応性染料または直接染料から選択される、請求項１～３のいずれかに記載の方法。

【請求項５】

前記固体微粒子処理剤が化学的繊維物仕上げ剤を含み、前記化学的繊維物仕上げ剤が、任意に、撥水剤、抗しわ剤、抗菌剤および蛍光増白剤から選択される、請求項１、２または３に記載の方法。

【請求項６】

前記水性システムが少なくとも１つの追加の補助剤を含み、

前記少なくとも１つの追加の補助剤が、任意に、アルカリ物質、酸、酸化剤および還元剤から選択されてもよく、および／または、

前記少なくとも１つの追加の補助剤が、任意に、界面活性剤を含み、および／または、

前記少なくとも１つの追加の補助剤が、任意に、 $0.5 \sim 10.0 \text{ g L}^{-1}$ の範囲内のレベルで添加される少なくとも１つの界面活性剤を含み、および／または、

前記少なくとも１つの追加の補助剤が、任意に、 $1 \sim 15 \text{ g L}^{-1}$ の量で添加される少なくとも１つのアルカリ化剤を含み、および／または、

前記固体微粒子処理剤が、任意に、前記少なくとも１つの追加の補助剤をさらに含む、請求項１～５のいずれかに記載の方法。

【請求項７】

界面活性剤の非存在下で行われる、請求項１～５のいずれかに記載の方法。

【請求項８】

前記処理が、

(a) 前記固体微粒子処理剤を含む水溶液を用いる基質のウェットアウトであって、 $2 : 1$ 以下の溶液対基質の比で行われる前記ウェットアウト、または

(b) 前記基質の片面または両面を、前記固体微粒子処理剤を含む水溶液で、 $2 : 1$ 以

下の溶液対基質の比をもたらすようにスプレーするステップ、または

(c) 基質の水でのウェットアウトおよびその後のウェットアウト基質の固体微粒子処理剤での処理

のいずれかを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

20 ~ 140 の範囲内、任意に 50 ~ 65 の範囲内の温度で、および / または、1 : 1 の溶液 : 基質比で行われ、および / または、

前記密閉容器が、任意に、金属またはプラスチックから任意に形成された、封止染料ポットまたは他の封止可能な染色もしくは織物処理装置であり、および / または、

前記基質を含有する水性システムが任意に前記方法の実施中に攪拌され、および / または、

前記処理が 10 ~ 45 分の期間行われる、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

処理した前記基質にその後ウォッシュオフおよび / またはすすぎが行われ、ならびに、前記方法が、任意に、前記適用後の前記基質の水での 3 回以下のウォッシュオフ処理を含む、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】

前記方法が順に、

(a) 2 : 1 以下の水対基質の比での密閉容器における処理基質の水での第 1 ウォッシュオフステップ ;

(b) 2 : 1 以下の水対基質の比での密閉容器における処理基質の水での第 2 ウォッシュオフステップ ; および

(c) 20 : 1 以下の水対基質の比での密閉容器における処理基質の水での最終ウォッシュオフステップ

を行うことを含む 3 段階プロセスを含み、

前記密閉容器における処理基質の水での最終ウォッシュオフが、任意に、5 ~ 10 : 1 の範囲内の水対基質の比で行われ、および、

前記基質が、任意に、各ウォッシュオフステップ後に周囲温度で水道水ですすぐれる、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 および第 2 ウォッシュオフステップが周囲温度 (15 ~ 25) で行われ、前記最終ウォッシュオフステップが 40 ~ 80 、とりわけ約 70 の温度で行われ、ならびに / または、各ウォッシュオフステップの期間が 10 ~ 15 分の範囲内であり、または

前記第 1 および第 2 ウォッシュオフステップが周囲温度 (15 ~ 25) で 10 ~ 15 分の範囲内の期間行われ、前記最終ウォッシュオフステップが周囲温度 (15 ~ 25) で 15 ~ 45 分の期間行われる、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記方法が順に、

(a) 5 : 1 以下の水対基質の比での密閉容器における処理基質の水での第 1 ウォッシュオフステップ ; および

(b) 10 : 1 以下の水対基質の比での密閉容器における処理基質の水での第 2 ウォッシュオフステップ

を行うことを含む 2 段階プロセスを含み、

前記密閉容器における処理基質の水での第 1 ウォッシュオフステップが、任意に、周囲温度 (15 ~ 25) ~ 98 の温度で行われ、ならびに、

前記基質の各ウォッシュオフステップ後の周囲温度で水道水でのすすぎが、任意に行われない、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記第 2 ウォッシュオフステップが 15 ~ 25 の周囲温度で行われ、および / または

、

前記第 1 ウォッシュオフステップの期間が 1 5 分の範囲内であり、および / または、
前記第 2 ウォッシュオフステップが約 3 分の期間行われる、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記ウォッシュオフプロセスのうちの 1 つ以上が添加される補助処理剤の非存在下で行われる、請求項 1 0 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の方法。